

所沢市マスコット



豊かなみどり あふれる笑顔 みんなで明日をつくるまち所沢

第20号

環 境 会 報

所沢市環境推進員連絡協議会

発行責任者 会長 毛利 吉成

とことん減量、資源化は「もったいないの心」

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成

所沢市環境推進員の皆様におかれましては益々ご清祥にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

この度、私は平成24年度所沢市環境推進員連絡協議会総会におきまして会長に就任いたしました。あらためて推進員の皆様にご挨拶を申し上げます。

34万人を超える人口を有する所沢市には、11行政区に1,121名の皆様が、藤本正人市長の委嘱を受け環境推進員として、日夜ご活躍をされておられます。

その活動は、ごみの発生・排出の抑制（リデュース）、再使用、再生利用・資源化（リユース・リサイクル）等、いわゆる3Rの推進や廃棄物の適正処理を進め、環境への負荷が軽減される循環型社会の形成に向け、地域におきましては家庭ごみの削減、分別の徹底や資源化等の啓発活動、さらに、「もったいない」意識の向上を目指した様々キャンペーン等であり、熱心に取り組みをされておられます。

今、私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会の下で、豊かさと利便性を享受しております。こうした利便性を少しがまんしたライフスタイルに見直していくことも大切ではないでしょうか。一人ひとりのちょっとした工夫、少しの我慢は、小さな力ではございますが、やがて大きな力となって自然と寄り添った思いやりのある循環型社会を形成する動きとなっていくと、私は思う次第です。

どうか私たちの所沢をさらに快適な環境にしているために、3Rの推進を通じた「とことん減量・資源化のすすめ」への取り組みに対し、ご理解を頂き、さらなるご協力をお願い申し上げます。



環境に配慮したまちづくり

所沢市長 藤本 正人

まずは環境推進員さんの日々の地道な実践に心から感謝申し上げます。

昨年、わが国は未曾有の大災害に見舞われました。東日本大震災、そしてそれに続いた福島第一原子力発電所の事故は広範な地域に深刻な放射線の被害をもたらしました。このような惨禍から私たちは改めて災害対策、防災の必要性を認識するとともに、生活に欠かせないエネルギーが地方の犠牲の上に成り立っていたことを思い知らされたのではないのでしょうか。より便利に、より快適にと飽くなき追求してきた私たちの生き方はこれでよかったのか！？きっと多くの人が考えたのだと思います。

現在、市では新たなビジョン（『まちごとエコタウン所沢構想』）の策定を進めています。この構想では、社会情勢や市民の方々の意識の変化、さらには市域における種々の自然エネルギーの利用可能量を勘案し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入を図るとともに、私たち一人ひとりが、今までの生活をもう一度見直し、新しい価値観

を持って、もったいないの心にも灯りをともし、実践に移していくことをめざしております。

今後とも環境に配慮したまちづくりの推進に全力で取り組んで参ります。引き続き、環境推進員の皆様のお力添えを心よりお願いいたします。



春の環境美化の日（中新井地区）

松井地区環境推進員協議会 (環境推進員124名)

会長 池田 一美
副会長 池田 治男

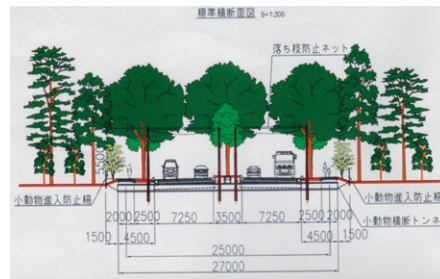


平成24年5月 春の環境美化の日

松井地区では、環境意識の普及及び啓発を行い、春・秋の「環境美化の日」一斉美化活動に参加して、市の環境行政の推進に協力すると共に地区内の各団体と連絡をとり、ごみの減量と資源化リサイクルの推進と環境浄化活動への助成を行っていきます。

富岡地区環境推進員協議会 (環境推進員64名)

会長 小林 輝遼
副会長 佐久間信樹 佐藤 孝夫



東京・狭山線標準横断面図

今期、春の視察は東部クリーンセンター（毎年視察）に西部クリーンセンターを加えて長沼商事（金属リサイクル）の視察を25名の参加で実施、この秋には太平洋セメント熊谷工場（東北の残材処理）と県環境整備センター（寄居・大規模太陽エネ施設計画）を予定。富岡地区の今の話題は富岡広報14号に載せた東京・狭山線の開通とそれに係った環境保護活動でもちきりです。

小手指地区環境推進協議会 (環境推進員130名)

会長 平野 俊浩
副会長 関口 初男 大館 正義

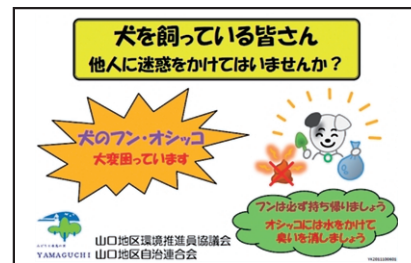


地域の清掃活動

小手指地区は人口48000人、世帯数20000世帯、環境推進員130名行政地区で一番の大きい地区です。講演会や航空公園掃除、たばこのポイ捨て防止などでの動員には力を入れています。まだ3回目ですが「もったいない市」は軌道に乗りつつあります。

山口地区環境推進員協議会 (環境推進員87名)

会長 毛利 吉成
副会長 柴田 幸男 新居 亨一
神藤 年三 川田 正昭



犬フン放置防止の啓発パネル

「もったいない市」や視察研修旅行などの主要行事には毎回数十名の推進員が参加、楽しい雰囲気です。また、推進員相互の環境情報の共有を目的に「山口環境だより」を発行。さらに犬の飼い主のマナー向上にも取り組んでいます。

所沢市環境推進員連絡協議会

所沢市環境推進員連絡協議会の総会が5月30日に開催され、新役員は次のとおりです。



平成24年5月 連絡協議会総会

会長 毛利 吉成 (山口地区会長)
副会長 荻野 義雄 (三ヶ島地区会長)
小泉 英治 (所沢地区会長)
丸山信一郎 (並木地区会長)
会計 平野 俊浩 (小手指地区会長)
稲津 昌幸 (新所沢地区会長)
監事 峯岸 邦夫 (吾妻地区会長)
池田 一美 (松井地区会長)
顧問 齊藤禮次郎 (所沢地区会長)

所沢市の環境推進員全1121名。所沢市環境推進員連絡協議会は、各地区環境推進員協議会で構成されています。

吾妻地区環境連絡協議会 (環境推進員125名)

会長 峯岸 邦夫
副会長 鈴木由紀子 野口 忠志



ファイバーリサイクル発足の地として全地域で活動しております。ブルーカラーが吾妻地区の色です。

柳瀬地区環境推進協議会 (環境推進員68名)

会長 荒木 孟
副会長 池内 均 永倉 謹次



東所沢駅前ロータリー たばこ喫煙所周辺

たばことびん缶のポイ捨て防止が長年課題となっており、後半はこれらの場所の利用者のマナー向上を呼びかける活動に取り組んでいきたい。

三ヶ島地区環境推進員協議会 (環境推進員127名)

会長 荻野 義雄
副会長 星野 君子



平成24年5月 もったいない市

当地区では環境推進員127人が地域の環境保全のため活動しています。24年度は約半数の推進員が入れ替わったため、今年度の研修先として東部クリーンセンターとリサイクルふれあい館を視察しました。

新所沢地区環境推進員協議会 (環境推進員119名)

会長 稲津 昌幸
副会長 久下 紀世

新所沢地区では最近、環境美化の日の活動に参加した多くの環境推進員の方から、町のごみが減っているとの感想が寄せられています。拾ったごみもたばこの吸殻が大半で、大きいごみが少ないのです。事務局が用意するごみ袋は大き過ぎ、それ自体がごみにもなるので、各自が自宅から小さいレジ袋を持参して、それを使う方もいます。地域の夏祭りの時も、ごみ持ち帰り運動に協力する方が年ごとに増えて、会場に残されるごみが減っています。新所沢地区環境推進員協議会はこのような素敵な傾向が進むよう、一つ一つ努力します。

新所沢東地区環境推進員協議会 (環境推進員70名)

会長 魚島 克巳
副会長 高野 輝彦



平成24年5月 もったいない市

新所沢東地区は新所沢駅の東側に位置し8町会 環境推進員70名(役員8名)にて構成。各種イベント活動や研修会を楽しく、遣り甲斐を感じるようにしていきたい。

所沢地区環境推進協議会 (環境推進員122名)

会長 小泉 英治
副会長 森 眞司 原 浩子



平成24年6月 歩きたばこ防止キャンペーン (所沢駅前西口付近)

毎年恒例となりました「もったいない市」を所沢まちづくりセンターで開催しておりますが、次回よりご来場の皆様と環境推進員のコミュニケーションがより図れる様に環境推進員の名札をつける事にしました。

並木地区環境推進協議会 (環境推進員85名)

会長 丸山信一郎
副会長 中山 喜夫



平成23年11月 球根の配布 (公民館まつり)

昨年度好評だった公民館まつりで地域の緑化推進を図るため、球根の配布について今年度は更に拡大していく予定です。

原発は文明のお化けなり

環境コラム

丸山千尋 (柳瀬地区)



いつも不思議に思うのは人間の頭脳の神秘的働きである。脳は真剣に使えば使うほど鋭い閃きを示す。反対に使わないと、あっという間に劣化する。

人間が脳に迫り、生み出した最高のものが核融合作品、原爆と原発だと言ったら乱暴すぎるだろう。たしかに、この二つのおかげで世界は大戦をまぬがれ、豊かな近代生活を営んでいる。これは人間が脳から人工的に作り出したプルトニウム（ウランに似ている）が鍵を握っていて、増殖・再生可能という強さがある。

ある人は広島・長崎に投下された原爆を、悪魔の兵器、使用した人をサタンと断定した。またある人は狭い日本に54基もある原発の存在を、文明のお化けと表現している。

果たして人間は、何千年も猛毒の放射能を撒き散らす文明のお化けを頭脳の閃きで管理できるのだろうか。

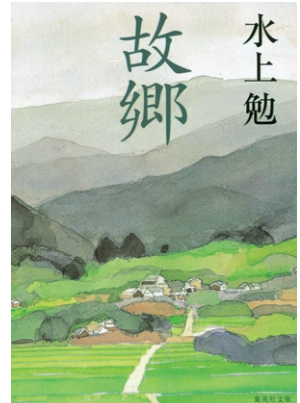
戦いに勝つため、安定した社会にするため科(化)

学者が頭脳を揺さぶり、発明・発見をするのと同じように、小説家は人間とは何か、人生とはどうあるべきか、文明の恐ろしさなどについて脳に問いかけて作品を創る。

お寺の小僧の経験もある、福井県出身の、水上勉(故人)さんの作品に「鳥たちの夜」(上・下)「故郷」(集英社文庫)がある。

いずれも東の原発銀座・福島と並ぶ西の原発銀座福井・若狭あたりが舞台で、原発を文明のお化けととらえ、このお化けによって、自然や故郷・家族などが、どれほど無惨に壊されているかを、克明に描写している。

できれば、作品を読んでもいただき、人間も自然の中のひとつの生き物だと認識されんことを……！。



暑い夏を涼しく 打ち水キャンペーン

東日本大震災後、市では、夏期における電力使用量の15%削減を目標として、空調運転の抑制や照明の減灯など様々な節電対策に取り組む一方、市民の皆様方にも節電等をお願いしてきました。

8月には、便利さや快適さを追求してきたライフスタイルをもう一度見直し、暑い夏を少しでも快適に過ごすための一工夫として、誰でも簡単にできる打ち水を推奨する『打ち水キャンペーン』を実施しました。

このキャンペーンのオープニングイベントとして、所沢・並木地区の環境推進員の方々やひばり児童館・並木学童クラブの元気な子供たちにご参加をいただき、市庁舎西口玄関前において「打ち始め式」を行いました。

更に、去る9月18日から24日までの間、打ち水キャンペーン期間中に打ち水を実施した団体等の写真を市民ホールにて展示し、市民の皆様にご紹介しました。



【みんなで打ち水】(環境総務課)
所沢市役所 玄関前

節電をテーマに 環境展示会

市・環境クリーン部では、毎年6月に「環境展示会」を開催しています。

今年度は、夏場の電力不足対策として、節電対策を主なテーマとして各課がそれぞれの業務の中で、多くの市民に対して情報の提供を行いました。



- 期 間……平成24年6月18日(月)～22日(金)
- 場 所……所沢市役所 1階市民ホール

展示内容

- 環境総務課……地球温暖化・エネルギー問題等に関するパネル展示。
- みどり自然課……みどりのお勧めスポット・市内の動植物の紹介。
- 生活環境課……環境推進員の活動紹介、歩きたばご防止啓発ポスターの展示。
- 環境対策課……放射能・放射線の解説。放射線量・放射性物質濃度の現状と対応。
- 資源循環推進課……ごみ減量・リサイクル等の啓発に関する展示。震災ガレキの現状と広域処理のパネル展示。

編 集 後 記

“もったいないの心にも灯りをともし実践にうつす”市長の言葉は、環境のオピニオン・リーダーとしての推進員への期待。ホットな情報を皆様に発信いたします。よろしくお願いたします。会報編集委員
編集長：荻野義雄 (三ヶ島)
委 員：魚島克巳 (新所沢東) 久下紀世 (新所沢) 新居亨一 (山口)
<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>
環境推進員連絡協議会を検索してアクセスしてください。